

提案書

2019 年 12 月 18 日

日本 NPO 学会
第 22 回年次大会実行委員会
委員長 李 妍焱 先生

日本 NPO 学会 災害等対応委員会
委員長 三 木 秀 夫

来年開催の第 22 回年次大会につき、そのご準備に多大な労力をお割きのことと存じ、心から敬意を表します。そのようなご多忙の折りに誠に恐縮ではありますが、先日開催の災害等対応委員会において、下記の内容を趣旨とするシンポジウムを、大会実行委員会の企画としてご採用いただきたく提案させて頂くこととなりました。何卒ご検討頂けますようお願いいたします。

記

- 1 企画名 仮題「大規模災害時における日本 NPO 学会の役割」
- 2 開催日 第 22 回年次大会内
- 3 登壇者 当委員会委員、災害時の市民活動研究者、実践者等によるシンポジウム
- 3 企画の趣旨・内容

当委員会は、本年度理事会において、自然災害等の緊急時における本学会の対応を審議し、会長並びに理事会に意見具申し、また必要な業務を遂行する目的で設置された特別委員会です。

大規模災害の発生時には、様々な民間非営利活動が行われ、その活動に対する社会的期待も高まっています。当学会会員も、それぞれの学識や知見に基づいて、救援・支援・復興の活動に貢献する機会が多くなる上、災害時の民間非営利活動を対象とする調査研究にも多くの会員が関与することとなります。場合によっては、迅速な会長声明の発信や、会員らを中心とした調査団（チーム）の設立・編成など、当学会においてそうした活動を実施もしくは支援することも期待されることとなります。

一方で、緊急時における学会運営のあり方や、情報の収集・発信方法、意見の集約方法、現地調査などの際に求められる被災者への配慮といった研究倫理等の問題など、多くの課題も存在しています。当学会が、そうしたことに対して、誠実かつ真摯に社会的要請に積極的に応え役割を果たしていくためには、どうしていけばいいか、議論を尽くしておく必要があると考えられます。

当委員会では、そうした議論を、委員会内部で行うだけではなく、広く会員や関係者の方々の知見も得たく、本企画を提案する次第です。

以上